

粕谷和夫の観察日記より。木の実の種が好物のカワラヒワ。固い種をつぶすために短い「くちばし」をもっています。そのカワラヒワが枯れたツルヨシ茎を突いて何かを食べていました。2月28日、八王子・湯殿川の河原です。生き延びるためには何でも食べるのですね。

紅葉台



新聞

第233号
2026年
5月9日
発行人：関谷 孝

遠出探鳥会 曾我梅林

2026年2月18日。天気晴れ。6名参加。

八王子からは2時間ほど、東海道線の国府津駅で御殿場線に乗り換え下曾我駅下車。一時間に一本の電車なので乗り遅れると大変です。当日は電車の遅れもあり、何とかバスに乗って着いた人もいてハラハラドキドキしました。

さて、ここは有名な曾我梅林。仇討ちで有名な「曾我兄弟」のゆかりの地でもあり、たくさんの史跡を巡りながら、眼下に広がる相模湾や富士山を堪能できるウォーキングコースがあります。



別所・中河原等の梅林には、富士山と箱根の山々を背景に約3万5千本の梅が咲き誇っていました。いたるところが梅・梅・梅の花盛り。梅の種類は十郎梅、白加賀、南高、枝垂れ梅があり、特にしだれ梅は遠くからも見栄えがしました。この時期は「梅まつり」が開催され、たくさんの人が訪れていました。



駅から歩いてしばらく行くと田んぼが広がり、辺り一面が梅の花で埋まっていました。太平洋に面している湘南地域はとても温かく、一足早く春が来たようでした。早速田んぼで、ツグミが餌を探しています。ちょっと走っては止まる姿は「だるまさんが転んだ」を想起させます。カワラヒワが集団で餌を啄んでいました。日当たりの良いところでは竿の先にジョウビタキのメスが止まっていました。「田んぼは生き物にとって餌がある大切なところ」と会長も話していましたが、まさにその通りです。梅の花には蜜を吸いに來たメジロ



が沢山群がっています。賑やかな鳴き声でした。そんな中振り返ると遠くに富士山の雪帽子が見えます。梅の花と重なって一枚の絵ハガキのようでした。

梅まつり会場では屋台も出て、食堂には人がたくさんいました。ふと一角を見ると可愛い7か月の秋田犬がいました。看板犬です。流石に有名な日本犬。体が大きくふわふわの毛でがっしりとしていて風格があります。「梅に犬」も似合います。



お昼を食べた川沿いの土手の地面にオオイヌノフグリが咲いていました。その中に一つだけ青ではなく紫の花がありました。会長さんが「外来種ではないか」と写真を撮っていました。梅の木はどれも老木ようですが花がしっかりと咲いています。「ノキシノブ」が枝や幹に寄生しているのもあり、風情があります。どの木も太い幹が選定され人の手が届く高さになっています。実が出来て収穫するのが楽なようになっています。

花がみっしりとついているのでたくさんの梅の実がとれそうです。川沿いに歩くと、見事な枝垂れ梅に出会いました。大きな農家の庭はミカンや梅の木が植えられています。農家の人が軒先で蜜柑・キューイ・レモン・キンカン等様々な種類の蜜柑を売っていました。大きなクスノキがあり、その大きさにびっくり。ヤドリギもあり、以前レンジャクが来た証拠ですが、残念なことに鳥は発見できませんでした。最後は「曾我兄弟」の菩提寺に出会いました。



この日は約1万歩以上の行程。帰りは、小林さんのお勧めで松田から小田急線経由で八王子まで帰りました。下曾我駅のホームからは雄大な富士山がとともよく見えました。富士山を見るとなぜか嬉しくなります。そんなパワーがあるんですね。長旅でしたが、梅も野鳥も見ることが出来てとても充実した観梅探鳥会でした。ベストはやはり梅にメジロ・コサギ・ツグミでした。

粕谷和夫の観察日記



3月2日、八王子・高月水田の休耕地で春を迎えたナズナとホトケノザが目立ちました。ナズナは春の七草、春の七草のホトケノザはコオニタバコラコのこと、こちらは4月に開花します。この日、田んぼには1羽ずつですが採餌中のツグミが多数目につきました。



昨年3月にも同じような「菜の花と中央線」の写真をラインで送りました。今年も天神公園の花壇に菜の花が咲いてくれました。昨年の花が終わった後、捻った種を採っておき、9月に播種し、秋に生えた稚苗を何度か間引きして、残った株が今春開花したものです。



3月7日、八王子・湯殿川の野鳥定期カウント、暖かい春の陽を浴びた日よりであった。ツルヨシの株元で見え隠れするクイナを探すと予想通りの場所に姿を現してくれました。採餌を始めたのですが、川底から

取ってきたものは死んだ小魚でした。3月7日、湯殿川の3月の野鳥定期カウントの終了後に片倉城跡公園に立寄りしました。カタクリは葉が出始めていました。その近くで今年もミスミソウが開花していました。葉が三角形だからミスミソウ。この花は石灰岩地域を好む野草で誰かがこの公園に持ち込んだもの、健全な生態系を守るためには好ましいことではないですね。



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。